

Huatai Insurance Agency & Consultant Service Ltd.

Circular 1202

Date: 5 Sep 2012

中国 Lanshan 港一養殖場の拡張が付近航行船舶に及ぼす危険について

(この回章は Huatai Insurance Agency & Consultant Service Ltd. Qingdao Office により作成されました)

背景

2012年7月以降、Huatai Qingdao Office は、中国山東省 Lanshan 港付近の養殖場に船舶が侵入し、養殖場所有者からクレームを提起されるケースの増加に直面しています。

当該 office の調査によれば、2012年6月、江蘇省 Gan Yu Ocean and Fishery Bureau により、新たに2か所の養殖場が許可されました。No.1 は、35-00.6N/119-35.3E、34-59.7N/119-44.8E、34-57.5N/119-40.6E の3地点により囲まれる海域にあり、Lanshan 港 No.2 錨地の南東側に位置します。No.2 は、35-01.2N/119-38.8E、35-01.2N/119-40.6E、35-03.2N/119-40.6E、35-03.2N/119-38.8E の4点により囲まれる海域にあり、Lanshan 港 No.2 錨地の東側に位置します。関係情報によると、No.1 養殖場は現地養殖約20業者に、No.2 は現地養殖3業者に貸し出されているとのことです。なお、養殖場所は変更されることがあるため、前述の場所は暫定的なものです。

前述の2か所の養殖場は航路の非常に近くに位置しています。船舶が一旦航路から外れると、とたんに養殖場に侵入し、損害を発生させる虞れがあります。ご参考として当該海域の略図を作成しましたので、養殖場、No.2 錨地（これは Lanshan 港の主たる錨地です）及び航路の位置を確認できます。なお、図には影響のある航路をルート B、ルート C として記入しています。

海図上の Notices 及び Sailing Direction Publication

下記のとおり、海図（BA1253）上には地元の養殖場について警告が記載されています。

1. 養殖場及び定置網の位置：Lanshan Gang (35° 05'N 119° 30'E)に近接する海域には多くの養殖場及び定置網が設置されている。
2. 規定の航路：Qingdao 港(35° 57'N 120° 44'E)及び Lanshan 港(35° 01'N 119° 39'E)に出入港する際は、規定の航路に従うこと。

上記1の警告はルート B の北側に記載されており、6月に新たに承認された2か所の養殖場ではなく、これまでの養殖場に関係するものです。いずれにせよ、上記2の警告は、Qingdao 港及び Lanshan 港について、規定の航路内航行を厳守するよう忠告しています。

海図のさらに上部には Sailing Direction Publication の明白な警告が以下の通り記載されています。

「注意：Lanshan 港域には多くの養殖場及び定置網があるため、規定の航路を外れるルートは推奨されません。」

現地 MSA による Temporary notice

新しい養殖場は海図に記されていませんが、Rizhao MSA(Lanshan MSA の上部組織)は、No.2 の養殖場に関して、Temporary notice(No. Lu Hang Jin 0247)を発行しています。これには Lanshan 港 No.2 錨地の東側、35-01.2N/119-38.8E、35-01.2N/119-40.6E、35-03.2N/119-40.6E、35-03.2N/119-38.8E の 4 地点を結ぶ海域に多くの養殖場があることが記載されており、船舶の航行に危険を及ぼす虞れがあること、養殖場に入らないように適切な見張りを立てることなどを推奨しています。

No.1 の養殖場については Lanshan 港に悪影響を及ぼすものの、管轄は Lianyungang MSA にあります。Lianyungang MSA によると、その養殖場が船舶の安全航行に危険を招くとして、Notice to Mariners の発行申請を Gan Yu Ocean and Fishery Administration に要請しているものの、未だに対応が取られておらず、No.1 の養殖場に関する通知は現在まで発行されておられません。

未対応理由

中国では、現地の Ocean and Fishery Administration が該当する海域の使用許可を与える権限を有していますが、航行の安全は現地 Maritime Safety Administration (MSA)が管轄しています。よって、許可された養殖場のいくつかは、航路の非常に近くに位置し、船舶を危険にさらす事態となっています。

さらに、漁業と安全航行に関する法律が矛盾して存在しているという現状も問題です。例えば、中国の法律のもとでは、どの機関が Notice to Mariners の発行申請をすべきか明確にされていません。

事故の原因

養殖場は航路の非常に近くに位置しますが、No.1 の養殖場に関して言えば、未だに公式な通知は発行されていません。よって、船舶が出入港する際に視界が悪い状況、特に夜間では、事故を避けるのが難しくなってしまいます。

また、我々が取り扱った最近の事例では、事故に関わった船舶は何れも規定航路を外れて、養殖場に侵入したということが分かっています。これらの船舶が規定航路を航行していれば、養殖場は航路外にあるので事故は避けられたでしょう。

今後の見通し

Ganyu Ocean and Fishery Administration は、No.2 の養殖場付近に、さらに養殖場を承認したと言われていますが、未だ正式に承諾証が発行されておられません。このことから、養殖場区域はさらに広がるものと思われます。

また、Lanshan 港の安全ため、Lanshan MSA、Lanshan 行政府及び Lanshan 港湾当局は、前述の養殖場を航路付近から排除する意向で、現在これに向けて養殖場を承認した Gan Yu Ocean and Fishery Administration との間で調整中とされています。しかしながら交渉には長い時間を要すると予想され、いつ養殖場が排除されるかは明らかではありません。

一方で、我々は、Lanshan の関係港湾当局がルート B の北側に平行して新たな航路を開設する、その新航路は No.2 養殖場付近であると聞いています。我々の知る限りでは、新航路は未だ検討段階であり、当面のところ位置や方向などの正確な情報は明らかにはなりません。

今後、状況は変わっていくと思われますので、事態を監視し、適切な時期に進展をお知らせします。

提案

現時点で、船主は以下の点につき検討することを推奨します。

1. 養殖場区域は変更されることがあります。Lanshan 港に寄港する場合は、現地代理店との連絡を密にして、航路の状況を常に確認して下さい。現地代理店から専門的なアドバイスを得られない場合には、船長は現地 MSA の協力を求め、VTS による指示を遵守し、事故防止に努めて下さい。
2. これまでに取り扱った事例では、関係する船舶は何れも指定航路から外れたことにより、事故が発生しています。航路の確認後は、船長は必ず航路内を航行するよう努めて下さい。航路から少しでも外れると、養殖場に侵入してしまいます。
3. 常に適切な見張りを実施し、安全な航行速度を保って下さい。当該海域で、視界不良の状況下では、乗組員を船首に配置することが賢明です。
4. 万が一事故が発生した場合には、Huatai Qingdao までご連絡ください。
Huatai Insurance Agency & Consultant Service Ltd., Qingdao Branch
Tel : 86 532 8502 1883
FAX : 86 532 8502 3828
Duty Mobile : 86 186 5328 9883
Email : qingdao@huatai-serv.com

この情報がお役に立てば幸いです。何か質問がございましたら、遠慮なくご連絡下さい。

Shan Hong
Assistant President

Notice on the Chart
(On BA Chart 1253)

No. ¹⁶⁴ 2 Anchorage
of Lanshan Port

Fishery
No. 2

Defined Route
(B)

Fishery
No. 1

Defined
Route
(C)

Marine Farms

